

With

ウィズ



～私たちが私たちらしく暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

中川（全市域）・金森（浜脇・西宮浜）・吉岡（安井・今津南）・廣末（上甲子園）・上野（深津・
瓦木）・渡（甲東）・南（甲山・甲武）・角（小松・高須）・春（浜甲子園）・構（塩瀬・山口）

※（ ）内は地域包括支援センター圏域で表記

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり推進課

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

☎(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 ✉ kyoseimachi@n-shakyo.jp

生活支援コーディネーター 活動トピックス

北部の地域活動拠点 青葉園 はぴこ オープン！

西宮市社会福祉協議会が運営する青葉園では、本人※一人ひとりが地域で生活する主体者として積極的に地域に出向き、様々な活動を展開しています。青葉園のご本人は何か特別なことをするのではなく、地域に暮らす一人の生活者として“こんなことしたい”を地域の中で実践しています。子どもも大人も、そして障害の有無に関わらず誰もが当たり前持つ想いを、地域みんなで実現していくことが共生のまちづくりにつながると信じています。

（※青葉園に通う一人ひとりのことを「利用者」ではなく「本人」と呼んでいます。）

青葉園の本人によるエピソードは
裏面で紹介しています ⇒⇒⇒

はッピーたけのこくらぶ略して 「は・ぴ・こ」

これまで北部地域で暮らすご本人も長時間かけて青葉園に通所していました。そして、週に1回は「たけのこくらぶ」として職員と共に北部地域に出向いて、住民の方々と畑で野菜を育てたり、一緒にイベントに参加したりと生き生きと主体的に活動を展開してきました。



この度、北部地域の活動拠点として『青葉園 はぴこ』を開設し、より身近なところに通いながら北部地域での活動を展開していくことになりました。単なる通所施設としてではなく、「たけのこくらぶ」が築いてきたつながりを活かしながら、ご本人、職員、そして地域の皆さんと一緒に、誰もが自分らしく幸せに暮らせる共生のまちづくり、そして「北部の地域福祉拠点」としての活動展開をめざします。



11月6日(水)の開所式の様子♪

開所について、皆さんから「嬉しい」と言っていたことが印象的でした。ご本人やご家族だけではなく、地域住民みなさんの願いが詰まった拠点であることを再認識できました。

『青葉園 はぴこ』
場所：エコー名塩4F(名塩新町8番町)
時間：月～金 10:00～16:00

青葉園に通所するご本人による共生のまちづくり実践

今津

「そこにいる」ことで 生まれる笑顔の輪

『ふくふくサロン』

場 所：今津出在家町2-2

開設日時：月～金 10:00～16:00

ある日、青葉園に通う“ゆうへいさん”がお散歩がてら、職員と一緒に今津地区にある共生型地域交流拠点『ふくふくサロン』を訪れました。『いらっしゃ～い、よく来てくれたね。』と、みんなに笑顔で出迎えられたゆうへいさん。初めて食べるアイスクリームがおいしくてニコニコ。すると『見ているこっちまで嬉しくなる笑顔やね～！』と、ふくふくサロン全体が和やかな雰囲気に包まれました。

言葉でコミュニケーションをとることが難しくても、表情で周りの方々の心をホッとあたためたゆうへいさん。当たり前そこにすることで、笑顔溢れる自然なつながりが広がっています。



夙川 心を動かす出会いと学び



夙川小学校4年生の福祉学習では、障害当事者のくらしを直接、聞く時間を持ちました。青葉園に通う“森本さん”は、一つのクラスを担当し、青葉園での活動や自宅でのくらしについてお話をしました。質疑応答では、子どもたちと文字盤を使ってコミュニケーションをとり、お互いの好きなものの話で笑い合いました。その1カ月後、子どもたちはその時の講師たちを学校に招き、お楽しみ会を企画・実施しました。再度小学校を訪れると、会場には「もりもとさん、ようこそ！」の文字とカラフルな輪飾り。森本さんを想い、子どもたちが考えた出し物で盛り上がりました。中には思うように出し物を披露できず、悔し涙を流す子も。。。

森本さんとの出逢いが、子どもたちの心を動かし、そして、関わった周りの大人の心も動かす時間でした。



香櫨園 1人の想いをみんなで形に

『ボッチャ交流～ひとみ杯～』

場 所：香櫨園市民センター（川西町4-5）

開設日時：奇数月・第3月曜日 13:30～

青葉園に通う“ひとみさん”は香櫨園の住民です。ひとみさんは地域の活動に参加したいとの思いから、青葉園の職員と共に香櫨園地区ボランティアセンター主催のボッチャ交流会（年2回開催）に参加しました。その中で参加者の男性が「本当はこういう機会がもっとあるといいな」とお話されていました。そこでひとみさんと青葉園の職員は、ボッチャを通して交流できる機会をもっと増やすことができれば参加者同士のつながりもより深まると考え、地区ボランティアセンターと一緒に「ひとみ杯（ボッチャ&交流会）」を定期的に開催することになりました。

この交流会は2カ月に1回開催されており、近隣の障害者施設やご近所の高齢者など参加者も増え、人と人が出会い、つながりの輪がひろがっています。



生活支援コーディネーターは共生のまちづくりにむけて「青葉園の地域活動展開」を共にすすめています。青葉園や障害当事者と共に創る活動などについて、ぜひお気軽にご相談ください♪